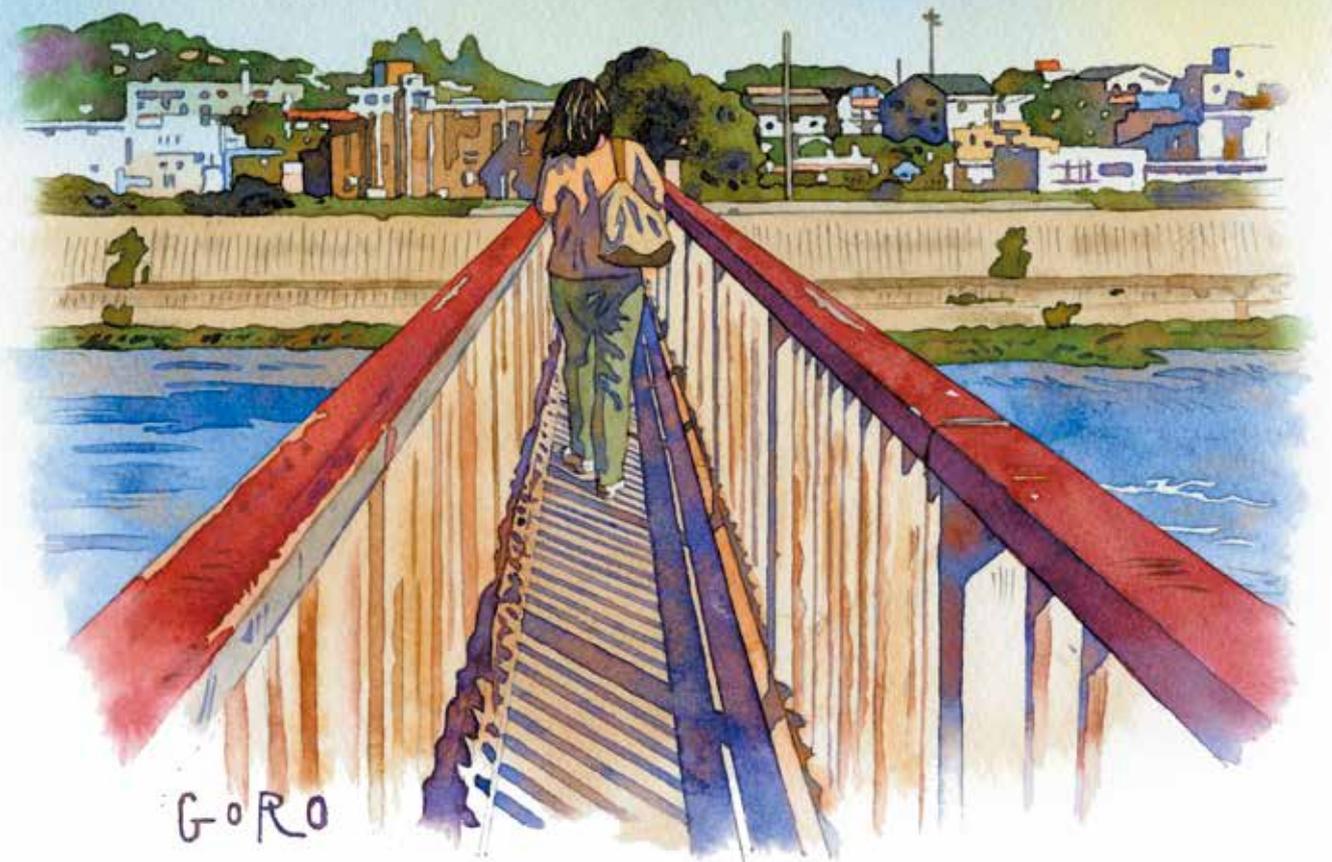


# ちいさな 建設

生瀬水管橋



## お互いさまの橋

兵庫県を流れる武庫川を、宝塚駅前から一キロ余り上流に遡っていくと、「生瀬水管橋」が架かっている。橋長は九九メートル。左岸の生瀬浄水場から右岸の市域に給水するために、宝塚市が架設したものだ。給水管の上部に設けられた橋の有効幅が六〇センチとかなり狭く、狭さは日本一かもしれないと言われる。じつはこの橋は水管橋を維持管理するための点検歩廊だ。これを地元の人たちが日常的に渡っていることから、反対側から来る人がいたらどうするの？ といった興味を引いている。

だが、水管橋が架かる兩岸は西宮市。架設したのは隣接する宝塚市。住宅開発地の給水に対応するため、西宮市に相談し、一九七五年にこの場所に建設できた経緯があり、その後、宝塚市方面との往来などに近く、生活利用に利用したいという西宮市の地元の要望に、宝塚市も応えた。

さて、橋の上で出会った時はどうするか。慣れた様子で体を横に向け、お互いさまと譲り合いつつ、すれ違っていく。

アクセス JR福知山線宝塚駅から生瀬駅方面に歩いて12分ほど